

霧島高校だより

鹿児島県立 霧島高等学校
 〒 899-6507
 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 330-5
 TEL (0995)-76-0039
 FAX (0995)-76-0040



機械科

総合学科

平成20年4月、鹿児島県立霧島高等学校が開校しました。
 霧島高校について詳しく知っていただくため、「霧島高校だより」をお届けします。

霧島高校ホームページにもアクセスして下さい

霧島高校 検索



新しい時代の教育を創造する！

宿泊学習（4月30日～5月2日）

集団生活によって、団体の規律と仲間意識を育み、はじめのある生活を身に付けさせることを目的として、2

泊3日の宿泊学習を県青少年研修センター（鹿児島市宮之浦）で実施しました。ミニクラスマッチ、星の観察、竹



とんぼ作り、灯火のつどい、オリエンテーリングなど全員が参加できるプログラムを通して、クラスの連帯感・団結を育み、友情を深めました。

研修Ⅰ～Ⅲでは、校歌を覚え、校則、霧島高校生として必要な資質、学ぶべきこと、進路に関することなどを学習しました。また、学習室での勉強会も静かに集中して取り組んでいました。最終日は、鹿児島ハイテク専門学校の見学を行いました。

生徒会役員選挙（5月14日）

自治活動の場として生徒会活動の役割と意義は大きいものです。入学後1か月もたない4月28日から5月7日にかけて生徒会立候補の募集を行いました。生徒会長立候補者9名、応援演説者11名による立会演説会を5月14日に実施。同日投票。クラス代表2名からなる選挙管理委員による開票の結果、初代生徒会役員が決定しました。



役員は以下のとおりです。（注 Mは機械科、Sは総合学科）

会長	宮前真実子(S1-3)
副会長	堂菌翔平(S1-1)、福永茜子(S1-1)
会計	小原和己(M1)、藤田さやか(S1-1)
書記	伊藤博城(S1-3)、森山理恵(S1-2)

初代の生徒会役員を中心に、1期生全員が生徒会活動

をととして、将来、社会人として、与えられるだけの立場ではなく、自分で考え、行動し、他の人々と力を合わせながら、社会を築く担い手となるために必要な力を身につけてほしいです。

PTA総会（5月29日）

開校したばかりの霧島高校は、何もかもがゼロからのスタートです。PTA活動も今年度の活動計画や予算など、

早急に取り組まなければならない課題が山積んでいます。窪田悟PTA会長を初めPTA評議員の方々のご尽力により5月29日PTA総会



を開催することができました。

総会ではPTA会則、役員選出及び承認、活動方針、予算など重要案件が協議され原案通り承認されました。

今後、保護者と教職員が一層協力して、本校教育の振興と学校内外における生徒の健全な成長を図るために実りのある活動をしていきます。

第1回避難訓練（5月27日）

火災・地震発生時における避難や防火・防災に対する心構え、人命尊重の精神や緊急時における対応の仕方などを理解させることを目的とした第1回避難訓練を5月27日に実施しました。今回は火災発生による校庭へ全員避難という想定で行いました。

学校は、生徒が安心して学習や諸活動に取り組み、かけがえのない存在として夢や希望を育むことができる安全な場所ではなくてはなりません。



学校安全教育に基づいて避難訓練などの安全教育を推進しています。毎月15日が校内安全点検日です。

教育相談旬間（6月11日～20日）

学級担任・副担任を中心に約2週間放課後、教室や準備室、実習室で行いました。学習（成績・進路）、交友関係、いろいろな悩み、健康状態、生徒一人一人に応じた自己実現の支援など多岐にわたりきめ細かい教育相談を実施しました。教育相談はその都度必要に応じて全職員が対応していますが、学校全体として教育相談旬間としても取り組んでいます。2学期は11月に実施します。

スクールカウンセラー

毎月1～2回、スクールカウンセラーの先生が来校しています。臨床心理士の今村葉子先生です。生徒だけでなく保護者、職員との面談、指導助言を行います。5月21日描画テストを実施しました。

産業社会と人間「社会人講話」

総合学科には、「産業社会と人間」という科目があります。これは「自分を知り」、「自分の在り方・生き方」を探求し、社会と積極的に関わっていく姿勢を学び、将来の職業決定や自己実現につながる態度や能力を身につけるとい科目です。「体験学習」「社会人講話」「選択科目」「調査・研究」という4つの柱を掲げ、この観点にそって学習していきます。今回は1学期に実施した「社会人講話」について紹介します。

第1回は、5月21日、田島健夫先生（大霧島観光協会会長）に講話をお願いしました。内容は、観光ビジネスについての正しい知識と理解、社会人としての心構え、高校生に期待することで、生徒はとても大きな示唆を受けたと思います。



あいさつの大切さを教えていただきました。あいさつがこれからの社会で生きていく上でどのくらい大事なことが改めて知ることができました。今までいろいろな人と出会ったので、これからも出会った人を一人一人大切にしていきたいと思えます。「嫌いな相手も理解する」「最大の弱点を最強にする」という言葉がすごく印象に残りました。

生徒の感想：産社ノートより

第2回は、7月9日、千葉しのぶ先生（霧島食育研究会代表）に講話を依頼しました。高校生のための「食育」入門という内容で、生徒の心に深く届く講話でした。



昔と今の食卓の比較や生活習慣病についてたくさんのお話を聞かせていただきました。その中でも私は、「150の料理には150の思いがある」ということがとても印象に残り気づいたことがあります。私も小さい頃から祖母に可愛がってもらい、たくさんの料理を食べさせてもらってききましたが今思えば、その中には祖母のたくさんの思いがこもっていたのだと感じます。思いのこもった料理は深く心に残り、これ以上に勝る物はありません。私はこれから先、料理の一つ一つに思いを込め、誰かのことを考えて料理ができるような人になりたいです。

生徒の感想：産社ノートより

交通安全教室（7月2日）

夏休みを控え、交通安全の意識を高め、交通ルールを守り、交通事故防止に役立てる目的で交通安全教室を実施しました。横川警察署交通課より講師を依頼し、ビデオや具体的な事故の例をもとに、車両等を運転する者としての社会的責任と命の大切さを教えて頂きました。



MBC取材「ふるさとかがしま」（6月18日）

MBC放送番組「ふるさとかがしま」の取材がありました。開校式以来多くの報道陣に取材を受けてきた生徒達ですので、TVカメラを特に意識することなく、取材を受けていました。



放送では、霧島高校の特色や夢や希望に溢れる生徒の様子などが紹介されました（7月5日）。詳しくはMBCのホームページで見ることができます。

クラスマッチ（7月16日、17日）

1学期の締めくくりとして、男子はソフトボール、女子はバレーボールのクラスマッチを実施しました。2日間実施し、多くの熱戦が繰り広げられました。審判、記録等は各クラスの体育委員、生徒会役員及び部活動生徒が担い、生徒が自主的に運営するクラスマッチでした。初日は天候に恵まれ、予定通りの試合ができましたが、2日目は、午後から雷雨となり、グラウンドでの男子のソフトボールは残念ながら中止となりました。急ぎょ男子は体育館でバレーボールに変更し実施しました。



全国ロボット競技大会出場決定

県高等学校ロボット大会に本校から2台のロボットが出場しました。メカトロ部のメンバーが顧問の先生とともに、4月から製作に取り組んできました。2台とも個性のあるロボットに仕上がっています。結果は県大会準優勝で、全国大会出場が決定しました。今後さらに技術を磨き、創造力を発揮してより完成度の高いロボットに近づくことを期待します。

